

日本形成外科学会形成外科領域専門医制度：レーザー分野指導医 第1回認定審査について【改訂版】

2021年7月20日
一般社団法人 日本形成外科学会
レーザー分野指導医認定委員会
委員長 河野 太郎
担当理事 中岡 啓喜

※朱字の箇所が今回追記した箇所ですので、ご確認をお願いいたします。

日本形成外科学会は、日本形成外科学会形成外科領域専門医制度特定分野指導医細則およびレーザー分野指導医施行細則に基づき、レーザー分野指導医認定審査を下記の要領で実施いたします。

I. 暫定措置申請（2021年度のみ）

1. 分野指導医認定審査申請者の資格

1)、2) 及び3)～5) のいずれかを満たすもの

- 1) 日本国の医師免許を有していること。
- 2) **日本形成外科学会専門医の資格を1回以上更新していること（更新していれば機構専門医・学会専門医どちらでも可）。**
- 3) 日本レーザー医学会指導施設・認定施設の形成外科施設長。
- 4) 以下の条件をすべて満たす施設の形成外科施設長。
 - ・ 医療機関、日本形成外科学会認定施設、教育関連施設あるいは研修基幹施設、連携施設
 - ・ **前年の年間レーザー施術症例50例以上**
- 5) 上記3)、4) の**施設**に常勤として2年以上在籍し、形成外科施設長の推薦のあるもの。

・ 在籍時に年間50症例以上の施術を行ってなくても、前年に年間50症例以上の施術を行い、さらにその施設長の推薦があれば50症例の提出は原則不要。ただし、推薦人が必要と判断すれば、過去1年のレーザー施術実績（血管系病変：○例、色素系病変：△例、その他：□例）を添えて提出する。

2. 認定審査提出書類

以下の1)～5)の認定審査書類をご提出ください。なお、様式1、2、7につきましては、日本形成外科学会ホームページよりフォーマットをダウンロードしてご使用ください。

■日本形成外科学会ホームページ

URL < <http://www.jsprs.or.jp/specialist/shorui/index.html#contents5> >

- 1) 日本形成外科学会特定分野指導医認定申請書・・・・・・・・・・・・・・(様式1)
- 2) 履歴書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(様式2)
- 3) 暫定申請書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(様式7)
- 4) 日本形成外科学会専門医認定証(コピー)
- 5) 認定審査料振込の領収書(コピー)

3. 認定審査料

15,000円を所定の口座にお振り込み下さい。なお、既納の認定審査料は返還いたしません。

4. 申請書類記入・作成に関する注意事項

- 1) ダウンロードした書類に作成してください。
- 2) 年号の記載は西暦を用いてください。

II. 新規申請

1. 分野指導医認定審査申請者の資格

- 1) 日本国の医師免許を有していること。
- 2) 日本形成外科学会認定専門医の資格を有していること。
- 3) 日本形成外科学会認定専門医を取得後、日本形成外科学会の認定施設か教育関連施設、新制度での研修基幹施設・連携施設、日本レーザー医学会指導施設・認定施設、もしくはレーザー分野指導医が常駐している施設で、2年以上の研修歴を有していること**(暫定)**。
- 4) 日本形成外科学会学術集会(基礎学術集会、各地区の形成外科学会学術集会および地方会も可[旧称：日本形成外科学会 支部学術集会および地方会])におけるレーザー領域に関する2回以上の発表歴(筆頭もしくは発表指導者)、あるいはレーザー領域に関する1編以上の学術論文執筆歴(筆頭もしくは筆頭指導者)を有していること。
*学術集会の発表歴には、特別講演や教育講演などの講演歴、ランチョンセミナーなど関連プログラムでの講演歴、学術集会での座長や司会歴も含まれる。
*執筆指導者(発表指導者)とは、共同執筆者(発表者)の中で最も指導的立場にいる執筆者(発表者)が該当する。
- 5) **【2021年度～2023年度は制度開始したばかりのためセミナー受講は必須ではない】**
日本形成外科学会の総会・学術集会および基礎学術集会の会期中に、日本形成外科学会が主催するレーザー分野指導医認定教育セミナーの受講歴を2回以上有していること。
- 6) 日本レーザー医学会専門医を有するものは上記の3)～5)の条件を満たさなくてもよい。

2. 認定審査提出書類

以下の1)～9)の認定審査書類をご提出ください。なお、様式1～6につきましては、日本形成外科学会ホームページよりフォーマットをダウンロードして、ご使用ください。

■日本形成外科学会ホームページ

URL < <http://www.jsprs.or.jp/specialist/shorui/index.html#contents5> >

1) 日本形成外科学会特定分野指導医認定申請書・・・・・・・・・・(様式1)

2) 履歴書・・・・・・・・・・(様式2)

3) 研修証明書

日本形成外科学会認定施設及び教育関連施設における研修・・・・・・・・(様式3-A)

日本形成外科学会認定レーザー分野指導医が常勤している施設での研修・・・・・・・・(様式3-B)

4) 日本形成外科学会専門医認定証(コピー)

5) 業績目録[認定審査用]・・・・・・・・・・(様式4)

6) 症例の記録(症例記録PPT)※USBでの提出・・・・・・・・(見本PPT参照)

7) レーザー治療50症例の一覧・・・・・・・・・・(様式6)

8) 認定審査料振込の領収書(コピー)

9) チェックリスト

注)【制度開始後3年間は不要】教育セミナー受講証明書(2回分)

*日本レーザー医学会の安全講習受講修了証でも可(レーザー医学会受講修了証の有効期間は5年間)

注)日本レーザー医学会レーザー専門医を有するものは、日本レーザー医学会レーザー専門医認定証(コピー)を提出すれば、上記の3)、4)、5)、6)、7)は提出しなくてもよい。なお、日本レーザー医学会レーザー専門医で申請する方は、認定審査料は2,500円でよい。

3. 認定審査料

10,000円を所定の口座にお振り込み下さい。なお、既納の認定審査料は返還いたしません。ただし、2.注)のとおり、日本レーザー医学会レーザー専門医で申請する方は2,500円をお振り込み下さい。

4. 申請書類記入・作成に関する注意事項

1) ダウンロードした書類に作成してください。

2) 年号の記載は西暦を用いてください。

3) 研修証明書について、研修した期間によって、以下の通り様式が異なります。

(様式3-A)日本形成外科学会の認定施設 or 教育関連施設の場合

(様式3-B)日本形成外科学会のレーザー分野指導医が常勤している施設の場合

4) 業績目録[認定審査用](様式4)に併せて、

学術集会プログラム抄録集の申請者の発表(講演)が掲載されているページのコピー論文の最初のページ(題名と執筆者が記載されている)のコピー

を添付し、該当申請者名に下線を引いてください(業績については本会入会後のものとして).

5) 症例報告(症例記録、照射症例の一覧表)を作成する際、以下の点にご留意ください。(症例については本会入会後のものとして)

・症例報告として、見本の10症例パワーポイントを参照の上、レーザー治療症例記録10症例、レーザー治療症例の一覧表50例(様式6)を提出して下さい。

日本形成外科学会の認定施設か教育関連施設、新制度での研修基幹施設・連携施設に該当する研修施設以外(年間のレーザー施行件数300以上)で行われた症例も報告できます(暫定)。

・症例記録(10例)は、術前、術後3ヶ月以上経過の写真を必要とします。

照射中、照射直後の写真も可能な限り提出して下さい。

写真はパワーポイント形式で作成し、暗号化機能付USBメモリーに保存して提出して下さい。

※1症例1パワーポイントではなく、10症例1パワーポイントになるように保存して下さい。なお、原本は申請者が責任をもって保管して下さい。

※提出した暗号化機能付USBメモリーは、試験時に手渡しで返却します。

※暗号化したパスワードは以下のような内容のメールで事務局(jsprs-office01@shunkosha.com)まで通知して下さい。

件名:【2021年度レーザー分野指導医書類提出】形成太郎
本文:レーザー分野指導医申請書類のデータを本日USBにて送付いたしました。USBのパスワードは「〇〇〇〇」です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。 形成太郎

・症例記録(10例)は、下記症例が該当します。

申請者のレーザー治療としての経歴の中で、代表的な症例を提出して下さい。

I群 異常メラニン系症例(太田母斑、扁平母斑、蒙古斑・異所性蒙古斑、母斑細胞性母斑、老人性色素斑、黒子など)

II群 異常血管系症例(単純性血管腫、莓状血管腫、毛細血管拡張症、**静脈瘤**など)

III群 その他の皮膚疾患・外傷症例(疣贅、脂漏性角化症、線維腫、外傷性刺青など)

IV群 美容系症例(脱毛、小ジワ、タルミ、痤瘡瘢痕、装飾性刺青など)

V群 低レベルレーザー治療(LLLT)症例

VI群 光線力学治療症例

I~VI群の中からI群およびII群(必須)を含み3群以上を選択し、合計10症例

選択し呈示する。ただしⅠ群およびⅡ群については各2例以上を含むこと。

Ⅰ群、Ⅱ群にあつては部位と大きさを問わない。但し、保険適用症例を最低1例含むのが望ましい。

5. 申請書類記入上の注意

10 症例

- 1) 資格審査の対象になります。
- 2) レーザー分野指導医を取得するための試験のため、指導医を取得するのにふさわしい代表的な症例を提示してください。
- 3) 認められない術式の条件例
肌質改善、毛穴の改善など
※疾患によっては不合格になることがあります。

50 症例

- ・ レーザー治療 50 症例に上記の 10 症例は含まれません。
- ・ I～VI群の中から **Ⅰ群およびⅡ群（必須）** を含み **3群以上** を選択してください。

Ⅲ. 共通

1. 書類提出期間

2021年7月1日～7月31日【消印有効】

2. 書類送付先および認定審査料振込先

認定審査提出書類は、書留またはそれに準じる方法で委員会へ送付して下さい。

〒169-0072

東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 9 階

日本形成外科学会事務局レーザー分野指導医準備委員会宛て

※振込みは金融機関備え付けの用紙をご使用下さい。

*通信欄に「レーザー分野指導医認定審査料として」とご記載ください。

【ゆうちょ銀行から送金の場合】

郵便振替口座：00140-8-51198

加入者名：日本形成外科学会 認定医認定委員会

【他の金融機関から送金】

銀行名：ゆうちょ銀行

支店名：〇一九店(ゼロイチキュウ店)

預金種目：当座

口座番号：0051198

3. レーザー分野指導医認定審査 書類審査の実施時期

2021年8月末頃に実施予定です。

4. レーザー分野指導医認定審査 試験の実施時期

筆記試験認定審査【新規申請者のみ】(試験時間は2021年9月中旬頃を目途に連絡いたします)

日本形成外科学会 基礎学術集会前日に行います。

5. 認定審査の結果の発表および登録

認定審査の結果は、レーザー分野指導医認定委員会が理事長に報告し、理事会の議を経て申請者に通知します。合格者は、認定登録料10,000円(暫定申請者は15,000円)を所定の口座にお振り込みください。認定登録料の納付を確認した後、理事長が学会のレーザー分野指導医資格名簿に登録のうえ公示します。認定証は、追って理事長が本人に送付します。

6. 問い合わせ先

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-4-12 新宿ラムダックスビル9階

日本形成外科学会事務局 レーザー分野指導医準備委員会宛

E-mail: jsprs-office01@shunkosha.com

お問い合わせは、E-mail にてお願いいたします。

以上